



みかんぐみ



尚徳福社会 おぐら保育園

園庭にもアリやダンゴムシが出てくるようになりました。アゲハチョウが飛んでくることもあり、子どもたちはいつも目を輝かせて観察したり触れてみたりしています。まだ同じ遊びを共有することは少ないものの、友だちの近くに座って似た遊びをしている姿や、並んで座って絵本を見ている姿など、少しずつ友だちと一緒にいる心地よさを感じている様です。



室内遊び

巧技台を利用して、一本橋や滑り台を作りました。一本橋では、上手にバランスを取りながら渡る子や片足だけを乗せて渡る子、橋を跨いで渡る子など、いろいろな姿が見られました。すべり台では、最初は怖くて滑れなかった子もいましたが、慣れてくると何度も繰り返し、楽しんでいました。これから、天候が悪く、外遊びができない日も増えてくる時期になります。室内でもたくさん体を動かし楽しめるような保育を取り入れていきたいと思えます。



移動動物園

園に動物たちが来ました。園庭から「メ〜エ」と声が聞こえると、目を丸くして動きが止まる子どもたち。「何が起きたんだ」と、言わんばかりに窓際に集まり、園庭を覗いていました。靴を履きにテラスに出ると、早く動物に会いたくて靴下のまま園庭に出ようとする姿が見られました。実際、動物たちを目の前にすると、立ち止まってしまう子、勢いよく近づく子、その子によって違いがありますが、動物と触れ合う機会を子どもたちは楽しんでいました。

きゅうしょく だいすき

給食の時間になると、自ら手を洗いに行き、「エプロンが欲しい」と、保育者に伝え、エプロンを受け取り、席に着くと保育者の動きを目で追い、食事が来るのを「今か今か」と待っています。手づかみで食べる子、スプーンを使って食べる子、さまざまですが、皆、笑顔でモリモリと食べています。食べ終わると、お替りのラッシュが始まり、食欲旺盛の子どもたちです。



〜 おねがい 〜

- 気温差が激しい季節になります。気候に応じて調整したいと思いますので、ロッカーの中には、半そでと薄手の長袖の準備をお願いいたします。
- 爪切りのご協力ありがとうございます。長さがなくても、角があると自分や友だちへの怪我につながります。切った後、とがった所がないかの確認もお願いいたします。

